



編集 SEF 事務局
 連絡先 03-3669-0499
 URL http://sef-jpn.org

巻頭のことば 「第 16 期を迎えて」 **理事長 佐立弘臣**

SEF は平成 14 年 10 月に NPO 法人としてスタートし、この 4 月の新年度で第 16 期を迎えました。これも会員の努力、関係する方々のご協力、ご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。

日本経済は平成 3 年バブル崩壊、平成 20 年リーマンショック、平成 23 年東北大地震、「失われた 10 年」はいつの間にか「20 年」になり、「25 年」に及ぼうとしています。この低成長の中、労働環境は大きく変わりました。平成 13 年に小泉内閣の構造改革で規制緩和が実施され非正規労働者は増えつづけ平成 28 年には全労働者の約 40% が非正規労働者となり、定年の年齢は平成 6 年に 60 歳となり、平成 24 年に 65 歳となりました。

このような社会環境の中、定年を迎え現役時代のスキル・技術を生かしたいと意欲のある方々が集い社会に貢献しようとして SEF は誕生し、15 年活動をしてまいりました。

これを機に今回は「SEF15 年史」を編纂し、設立時の「より良き社会のために」の精神を再確認するとともに、6 月には HP をリニューアルし SEF の活動をさらに活発に行っていきたいと考えております。

SEF 会員の皆様には幅広く積極的にご活躍を戴けますようよろしくお願い申し上げます。

3 月度(第 163 回)理事会報告(3 月 22 日)

《第 163 回理事会》	5. 15 年史編纂委員会予算超過の件	→可決承認	
1. 正会員入会の件(黒澤氏)	→可決承認	6. H29 年度基本運営方針の件	→可決承認
2. 月島食品機械・設備コンサルティング業務の件	→可決承認	7. 準会員入会の件(伊藤正氏)	→報告了承
3. H29 年度予算作成の件	→可決承認	8. 会員種別異動の件(松崎氏、近藤氏)	→報告了承
4. 事業活動会計処理簡素化の件	→一部承認	9. コミュニケーション研究会会計報告	→報告了承
		10. H28 年度見通しと 2 月会計報告	→報告了承
		11. HP 更新画面概要説明の件	→検討継続

事業報告 SEFフォーラム 時事問題研究会 **担当理事 重富 紀**

時事問題研究会は一昨年から継続して長らく「日本の主要産業の次世代技術の予測」をテーマに日本の主要産業の明日を支える次世代技術について研究し近未来の日本の産業のありようと課題について考えてきたが、昨年 12 月でこのテーマでの研究に一様の区切りをつけて、今後の新たな研究テーマとしては、技術関連に限らず幅広く経済問題や社会問題、世界情勢等に関するテーマを含めて、時機にあった研究テーマを都度選択して研究していくこととした。その手始めに今年 1 月・2 月には「英国の EU 離脱について」3 月には「問われる資本主義」と題して、今日の多くの社会問題の底流にある“格差の拡大”について研究した。このように今後もその時々話題・問題となっている事象をテーマに研究していく予定にしている。

SEF サロン 98 回報告・99 回案内 **担当理事 白崎善宏**

《 第 98 回報告 》3 月 22 日実施
 講師: U.ウルジ氏 モンゴル国商工会議所・日本会頭
 演題: 「私から見たモンゴル」

ウルジ氏は在日 20 数年で商工会議所会頭として広くモンゴル・日本の友好に努められる他、モンゴルの大統領来日時には通訳を務め、さらにモンゴル出身の朝青龍はじめ大相撲の力士たちには“日本のお母さん”とも言われ多方面に活躍されています。モンゴルはロシアと中国の狭間にあり、苦難の日々でしたが 1992 年に共産主義国から新生「モンゴル国」が誕生しました。ウルジ氏ご自身も祖父、父が変革期に大変困難にあわれた環境の中で、なぜ氏が日本語習得されたが話されました。モンゴル人の特色・性格、今も国民の 65% がグルに住む生活、そして最も親日的国民であるモンゴルの現代を熱っぽく語られました。

加えてモンゴル人から見た日本人についても触れられ 2 時間を超えるご講演でした。聴衆の方からも質問も多く、有意義な講演会でした。

《 第 99 回案内 》
 日時: 2017 年 5 月 24 日(水) 18 時 場所: 青学会館内アイビーホール 1F「フェリア」
 演題: 未定 講師: 未定

3 月度会員動向

会員入退会 正会員入会 黒澤氏 4/1 より 正→準異動 松崎氏、近藤氏 4/1 より	4 月 1 日 会員数 正会員・29 名、準会員・31 名、賛助会員・2 社
---	---